



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

10月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2013年(平成25年) 10月1日(火)

NO. 146

所信表明

南カリフォルニア倫理の会

会長 橋 勝雄

過去四期会長を務めた川田氏のバトンを受けて新年度から引き続き、ここに所信表明をさせていただきます。

① この四年、広報、普及活動に新境地を開拓してきた道を更に一歩一歩推し進め、実りある結果が出るように会員一同実践努力していきたいと思えます。

② 広報、講演会、セミナー等で倫理の所在を知ってもらい、如何にして日曜「朝の集い」に参加↓入会(新会員)につなげていくか今後とも機会ある毎に話し合い、意見交換をしていきたいと思えます。

③ 毎日曜日「朝の集い」の時間帯にある「講話」は今迄、会長、普及部長の受け持ちでしたが、改め、原則として会長一回、残りの3回は会員皆が話す順番制として本人の経験、体験を交じえ『葉』にそつた話題として発表してもらいたいと思えます。会長、役員になった人だけが話すのではなく、会員皆が勉強するこ

とが倫理を学ぶ意味があるのではないかと思えます。

④ 倫理オフィスを文化部とセミナーの時のだけの使用でなく、事あるごとに多方面に貸して所在を知ってもらおう。

⑤ 会員同志の信頼、友愛を育み、活発な意見交換を行い、会の活性化を計り、外部からの参観者が来ても決して恥じないより良い会の組織作り、チームワークを作る為に会員皆が心体一つとなつて実践努力していきましょう。

辞令交付式

九月十五日(日)午前八時半より鶴川文字専任講師を迎え、倫理オフィスに於いて、二〇一四年度辞令交付式が行われました。司会は矢崎由起子さん。

滝川政和さんの書になる横断幕に日米国旗を掲げる中、司会の開式の言葉に続き米国日本両国歌斉唱。鶴川文字講師の挨拶、そして丸山敏秋理事長代理の鶴川文字講師から新役員一人ひとりに辞令が渡されました。

次に橋勝雄会長が所信表明を述べ、南カリフォルニア倫理の会の尾崎勝宏普及部

長、門園美枝子事務局長、前田グレース経理部長が普及推進の決意を発表しました。鶴川文字講師に激励の言葉を頂き所歌「世紀の歩調」を斉唱し、矢崎由起子さんの閉式の言葉で、辞令交付式を終えました。

不思議なことがありました。この日は朝から停電だったのですが、八時半、辞令交付式を始めるためのベルが鳴り終わった途端に電気がついたのです。式が始まるのを電気が待っていたような神聖な雰囲気が出て、皆、鶴川講師の話しに非常に集中して耳を傾けていました。

(尾崎よしみ記)



二〇一四年度役員

※本部

教育企画部 部長

伏木久登

文化部 専任研究員

矢口祐司

※倫理USA

President 橋勝雄

Secretary 前田グレース

Treasure 大島藤江

Directors 大西建造

滝川政和

川田薫

土佐美代子

門園美枝子

※南カリフォルニア倫理の会

会長 橋勝雄

普及部長 尾崎勝宏

班長 伊澤潤子

班長 大島藤江

班長 大竹信雄

班長 矢崎由起子

班長 飯田隆

広報係 ホン史子

ウェブ係 尾崎よしみ

事務局長 門園美枝子

会員係 尾崎よしみ

会場係 藤間富士子

図書係および誌友

梅本和子

川田末子

倫理ビジネスネットワーク

チーフ 飯田隆

経理部長 前田グレース

副部長 氏家正子

しきなみ短歌会チーフ

草野律子

秋津書道会チーフ

滝川歌子

新役員の皆様、どうぞよろしく
お願い致します。

.....

会員勉強会

自分自身がほがらかにしてい
るからこそ、まわりが明るくな
るという分かりやすい理由。

両目じりがつり上がって、口
がへの字に曲がったきつい顔を
ホワイトボードにすばやく描き
ました。これを治すのはたった
の四ヶ所を変えればよい、とい
って両目じりを下げ、口の両端
を軽く上げたスマイリングフェ
イスを三秒ぐらいでサッと書き

上げました。それだけで暗い顔が
明るい顔に変わったんです。

このような展開から九月二十
日（土）午前十時、鶴川文字専任
講師による『日日の倫理』勉強会
は始まりました。

わたくしたちが生きていくう
えていろいろな出来事や問題に
直面しますが、その処置、解決法
として「心のくもりを取り払うこ
と」が最善策であると話されまし
た。「心のくもり」とは自分のわ
がまま、欲、自分の都合のいいよ
うに考えること、心の迷い、過去
のことばかりを思うことなどで
す。

さらにとても難しい方が一の
最悪の場合には、自分のすべてを
投げ出す覚悟が出来れば心のく
もりはなくなるはずと説明され
ました。原石のダイヤモンドは
磨かなければ光り輝かないこと
を知っていながら、多くの人々は
自分をあまり磨かずに人生を終
えてお墓に行ってしまうようで
す。心のくもりが無くなれば、心
は明るく朗らかな光で輝きます。
明るい心は人をひきつけ、人が寄
つてきて、物も集まってきました。
倫理は難しくありません。

倫理は話を聞いて「分かりま
した。」「勉強になりました。」
ではダメです。「人のために自
分の身体を使ってすなおに実行
することです。」を強調されま
した。

長い旅の翌朝にもかかわら
ず、すばらしい勉強会を有り難
うございました。

（大竹信雄記）

りんりセミナー

九月十五日（日）午前十時十
分より、鶴川文字専任講師を日
本よりお迎えし、りんりセミナ
ーが開かれた。タイトル『あな
たの子育て大丈夫？ー親と子の
不思議なつながりー』

鶴川先生が、毎月七ヶ所で講
演をされる中で出逢ったお出迎
えの女性のお話から。ー彼女の
目はつり上がり、口はへの字に
ゆがんでおり、不足不満が一杯
詰った顔をしていた。彼女の娘
は中高一貫の私立高校に通って
いたが、派手な化粧をし、親の
顔を見る度「学校を辞める」と
詰め寄っていた。中学生の息子
は自分の部屋で勉強しているよ

うに見せかけながら、実はゲー
ムばかりをしている。子供達の
顔を見ると怒りが込み上げ、叱
ってばかりいた。先生が三度目
に彼女にあった時、「何でもよ
いから、ひとつだけ子供さんを
毎日誉めてあげてください」と
お願いされた。その日の夜、家
族で食事を取りながら、母親は
一生懸命、子供の良い点を探す
が、どうしても見つからない。
息子に向かってようやく搾り
出した言葉が.....「あんた
の耳の形はいいねえ」だった。
それから毎日、息子の耳の形を
誉め続けていると、三ヶ月を過
ぎた頃、彼が机に向かい勉強を
するようになった。一年半後、
鶴川先生の最後の担当の日、母
親が実践報告をした。「息子が
一生懸命勉強し、今では学年で
七番に入る成績を収めるまで
に変わった」という。「最初は
勉強をして欲しいと取り組ん
だ実践だったが、息子はそれ以
上に成長し、忍耐、我慢する力
を付け、壁にぶち当たっても、
立ち止まらずに、その先へと何
とか進める為の方法を自分で
考え出せる子供に生まれ変わ

った」と結んだ。「これが実践で、これが倫理です」と鶴川先生。

この他に、ようやく医療関係で医師として働き始めた三十代の息子が、人間関係でつまずき、働けなくなったという母親のお話。「この息子に「しようがない」と思いながらお小遣いをあげていた母親に対し、鶴川先生の言葉は、「これからは（いづれ良くなる、必ず良くなる、きっと良くなる）」と思いながら息子さんにお小遣いをあげました」というもの。母親が実践を始めた八年後、息子が国家試験を再度取得し、病院で小児医師として働き出した。その後、地元の大病院での小児医師となり、「子供たちを助けられるこの仕事は自分の天職だ」と言えるまでになった」と、母親からの嬉しい報告があったという。

また「脳」という字を分解説明して「どんな苦境にあったとしても、それを明るく受け止めようとするのが倫理です」と、強調された。

セミナーの後、個人的に先生への相談者は、若いお母さんたち

を中心にして十人もの行列を作った。一人五分程度の短い相談時間の中で、涙をほろほろ流している若いお母さんたちが続出。

後の先生のお話で、この時のことが明かされた。そのほとんどが、「自分は、子供を変えようとしてきたけれど、今日の講演を聴いて、自分が親と繋がっていないことに気付きました。私にどんな実践ができますか」というものだった。先生は「あなたのご両親がいらっしゃる方々を向いて、毎朝晩、挨拶をしてください。毎日二度、ご両親に気持ちを向けてゆくと、涙で感謝できる日がやってきます。その時が実践したことが実を結んだ時なのです」と答えられた。

日本から遠くにあるアメリカの地で日々、ご両親との距離を縮め、子供さん達とよい良い親子関係が結ばれてゆく家庭が増えてゆくことを強く願う日となった。

実践をしましょう!!

(参加者五十七名)

(内非会員二十一名・子供さんを含む) (草野律子記)

懇親会

九月十五日(日) 十二時十五分より倫理オフィスに於いて、鶴川文字専任講師をお迎えして行いました。中華料理をメインとし会員が心を込めた家庭料理の持ち寄りテーブルはいっぱいでした。

最初に橋勝雄会長より鶴川講師にお礼とし会からささやかなギフトを差し上げました。食事が終わりになった頃、鶴川講師より「今日セミナーに若いお母様達がたくさん参加下さり真剣に聞いて下さったことがとても嬉しかった、又セミナーの後の質問には列が出る程、お母様が御自身の事、子供さんの事を素直に相談下さった。お国が違ってもお母様の抱えておられる悩みは日本と同じなのだと感じた。一人のお母様は御自身のお母様と仲良く出来ないかと相談された。その方に朝夕「おかあさん、おはようございます。今日一日どうか宜しくお守り下さい」「おかあさん、おやすみなさい。今日一日お守り頂きありがとうございます」

ございました。明日も宜しくお守り下さい」と百日間お母さんに挨拶する実践を続けて下さい」と話すとお母様は涙を流して聞き入れて下さった。相談されたお母様達は皆最後に涙を流してお帰りになられた」と相談者の状況をお伝え下さいました。

最後に橋勝雄会長が鶴川講師に御出張下さった御礼を述べ、和やかな雰囲気の中に懇親会がお開きになりました。

(出席者三十五名)

(内非会員四名)

(梅本和子記)

お客様

福代茂さん、東京大田区の法人会会員で秋津書道会員でもある方ですが、仕事の為にレンスに出張にいられていました。辞令交付式からセミナー、懇親会まで、私共と快く一緒に過ごされました。日本の会員を倫理オフィスにお迎えするのはとてもうれしい事です。福代さん、ありがとうございます。これからもどうぞ朝の集いにお出で下さい。

おめでとうございます

『しきなみ』九月号

真砂集（西東京・海外）

入選 摺木洋子

『秋津書道』八月号

調和体

三席 咲田静子 高等部（東京）

競書

六席 滝川政和 人の部（東京）

入選 長谷川松子 高等部

入選 梅本豊造 々々

入選 咲田静子 々々

入選 前田グレース一般部（東京）行書

一席 竹内康子 々々 楷書

七席 佐藤いずみ 々々

入選 小倉治望 々々



3席 南カリフォルニア 咲田 静子



1席 竹内 康子

右縦線が太く、力強い作品です。



7席 佐藤いずみ

しきなみ短歌

星条旗家々の庭にはためきてこぞりて
祝う独立記念日 杉野和子
ジャステインはハッピー姿にハチ巻きで
手拍子たたいて音頭を唄う

長谷川松子
「かんたんよ」と頂きたるは二年前頑とし
芽出さぬ千両の種 塩出笑子
寝ころんで満天の星を見上げれば地球
の丸さをしみじみ感ず 伊澤潤子

誕生日「おめでとう」と祝福をすれば「明日です」と妻はあきれる 梅本豊造
子供たち多忙なるひび時間割き寄り添いくるる吾の誕生日 梅本和子

迂闊にもすべりて打ちし痛みより老いづき行くが心に痛し 門園美枝子

歓声と拍手の中にそれぞれの一瞬の美を散らしゆく花火 ホン史子

来し方を歌に見むとて繰りおれば二十年の生活（たつき）父母の死もあり 松永典子

暮れ泥むまだ温き陽と海の風夫とほおぼるハンバーガーはも 草野律子

前後ろ我が子を守りコヨーテは朝霧の中獲物を探す 摺木洋子

カラフルな服を身につけバイカーがひとかたまりで移動して行く 松元依子

真黒く焼けて娘はハワイより白い歯見せてメール送りき 大川敏子

病葉を庵にしたて蓑虫は己の世界にひたすら籠る 西島幸彦

暁（あかとき）をしきりに鳴ける雄鶏の声高らかに響き渡りて 滝川歌子

秋つかたとんぼ飛び交うかげおとし枯葉集める頭上すいすい 奥本洋子

早稲刈られ晩生（おくて）の稲も色づきてパッチワークのさまの平野は 伊勢田豊

靴底に感触確かめしつかりと踏みしめ歩むロスの大地を 矢口裕司